

2023年10月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【特別入試】・
2024年4月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入学試験問題

講座（学修分野）	国際比較経済、経済理論・統計、政策科学、経営学、（グローバル経営・経済）
専門科目	マクロ経済学

以下の問1、問2の両方に解答しなさい。なお、問1は解答用紙の第1ページと第2ページに解答し、問2は解答用紙の第3ページと第4ページに解答しなさい。

問1 いま政策当局が国民所得を引き上げつつ、金利（利子率）を現行のまま一定に留めたいと考えていると仮定する。そのとき、政策当局はどのような政策を行えばよいか、IS-LM分析などに基づいて説明しなさい。ただし、採点者はIS-LMモデルに関する知識をもっていないと想定しなさい。

問2 短期のマクロ経済における労働市場を考える。労働需要と労働供給をそれぞれ以下のように仮定する。

$$\text{労働需要関数 } L^D = L^D\left(\frac{W}{P}\right)$$

$$\text{労働供給関数 } L^S = L^S\left(\frac{W}{P}\right)$$

ここで、 W は名目賃金、 P は物価水準である。以下の各問に答えなさい。

- (1) 名目賃金が下方硬直的なときの総供給曲線を描きなさい。その際、労働の需要曲線と供給曲線を用いて、総供給曲線がどのように導出されるかを説明しなさい。
- (2) 物価水準が上昇したとき、企業はその変化を瞬時に把握するが、家計は直ちにはその変化を認識できないとする。このとき雇用労働量はどのように変化するだろうか。労働の需要曲線と供給曲線を用いて説明しなさい。

以上